

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告(その34・35)です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2021 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の45企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

◇ 企業紹介

【伸和建设 株式会社】

1957年に関市で創業した建築・不動産会社です。住宅の受注、設計施工や不動産の売買をメインに行っています。また最近ではCS活動として関市を本拠地に置くFC. Bombonera 岐阜と地域貢献活動を行ったりしています。



【HP】 <https://shinwa-kensetsu.jp/>

SDGs	取組中					今後の目標		
------	-----	---	---	---	---	-------	---	---

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・なぜジェンダー平等を今後の目標にしているのかと質問すると、女性の建築業界での活躍が必須である為とおっしゃっていた。私は今まで建築業界は男の世界というイメージがあったので、女性が必要とされているのは驚いた。SDGsの取り組みで環境に対してしていることで、エネルギー問題に注目して、安い家だけでなく、高性能な家を建ててエネルギー問題の解決に貢献しているのが分かった。

・建築会社とはいっても建築・不動産だけでなく家具の販売も行っているそうだ。他にもリフォームや中古物件売買など手広く行っている。また、FC. Bombonera 岐阜と地域貢献活動を行っている。またSDGsの5の「ジェンダー平等を実現しよう」で、男性社員と女性社員の採用率を出来るだけ同じにしている。これからの時代働く女性と言われるほど、女性進出が進んでいる中で、これは必須になってくるのかなと思いながら受けていました。

・建設といっても家具の販売やジェンダーに取り組むこと、地域のイベントなど取り組んでいることが多いと思った。建設業には色々な仕事があり、人手が減っているということを知り、建築物は必ず必要なものなのに、なぜ希望者が少ないのか疑問に思った。建設業でジェンダー平等を今後の目標にしているという所がすごいと思いました。男性だけでなく、女性も建設に関われる

ことで、SDGsを意識していてよいと思いました。

・世界と日本の技術の差を感じて技術をあげようと努力することがすごいと思いました。また地元にも興味を持ちスポーツを応援したり他の企業の手伝いをしたりしてとてもすごいと思いました。目標を持って何かに取り組むということはとても大切なことだということが分かってよかったです。

・最新のことを取り入れていくためにイタリアのミラノに行くなどして、建築にかける思いが強いと思いました。そして、ただお客さんに安い家を提供するだけでなく、将来的にも地球にやさしい家づくりを目指していらっしゃる場所がかっこいいと思いました。

・ただ家をつくるだけでなく、いかにお客様のニーズに応えるかということを大事にされていることが分かった。また、事業展開のために、様々な企業や団体とコラボレーションしており、地域に貢献していることも分かった。ジェンダーの取り組みとして、女性も積極的に採用したり、フレックス制を採用したりして、社員のことも考えられている。エネルギーについて、高性能な家をつくることで、ランニングコストを下げ、エネルギー使用量が少ない家になるように意識されていることが分かった。

・僕は小さい頃から建築に興味がありました。今回話を聞いて、自分はただ単に建築するだけだと考えてしまっていたのですが、ただ造るのではなく、そこに住んでもらう方のことを思って造っていくことが大切なのだとわかり、感動しました。

・建設業について、知らないことをたくさん知ることができました。安い家をつくることだけでなく、ランニングコストまで考えて高性能な家をつくっていることがすごいと思いました。また、地域貢献活動もしていることに驚きました。SDGsについても考えられていてすごいと思いました。エネルギー問題でなく、ジェンダー平等についても具体的な例を交えて教えて下さり、とても参考になりました。

・今と昔では、環境や住む人のニーズが違って、建設する家のデザインや素材が変わってきている事、関係無さそうに見えるSDGsのジェンダー問題にも気を配っている事、空き家の処理の方法なども知れました。空き家の処理は知りたかったので、専門の人たちがどう思ってどう対処しようとしているのか知る事ができて良かったです。家のモデルハウスも綺麗でした。

・建設業の今や、地域貢献活動で地元を盛り上げる事について学んだ。自分は講話を聞く前は、建設業に携われるのは男性のみで女性は建設業にはあまり需要がないと思っていたけれど、伸和建設さんの話を聞いて、SDGsの課題の一つであるジェンダー平等を実現する為に女性の雇用も作っていることを知ることが出来て、SDGsの課題解決に向けて努力していることがわかってすごいと思った。

◇ 企業紹介

【平田建設株式会社】

ストレスフリーの暮らしをつくる

主に民間の一般木造住宅の新築、リフォーム、リノベーションの工事をやっております。設計から施工まで一貫して自社で行っています。古民家改修のような大型リノベーションや耐震改修工事などが得意です。

【HP】 <https://www.ie-hirata.com/>



SDGs	取組中					今後の目標	
		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	15 陸の豊かさも 守ろう		3 すべての人に 健康と福祉を

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・建築に関して、会社の違いやどんなことをするのかについて知ることが出来ました。平田さんの話を聞いて、建築士になりたいという考えを一度見直して見ようと思いました。建築士という職業に興味を持ち、自分はその職業にしか目がいていませんでした。しかし、まだそれになると決まった訳では無いので、もっと視野を広く持って色々なことに挑戦して見ようと考えることができました。

・平田建設さんの取り組みでは「ぎふの木」を使用するといった点やリサイクル品を使用している点がいいと思った。また誰でも幸せになる住まいづくりという目標を掲げ、住む人に合った快適な建物を設計していて良いと思った。また、今までよく分かっていなかった建築士、設計士、建築家の違いについても話してくださり、一級建築士になる事がどんなに大変なことかと痛感した。大学で建築を専門としていくと模型を作ったりするのは楽しそうだが、夜中まで泣きながら設計図を描いていると聞いてぞっとした。

・平田建設はSDGsの取り組みで、断熱材にガラスをリサイクルしたものを使ったり、屋根材にリサイクルしやすい鉄板を使ったりしていることが分かりました。また、建築の仕事や、建築士になるための進路について、たくさん話をしてくださり、質問にも答えてくださいました。将来の夢や考えるのに、現役の方の話を聞ける機会はよかったです。

・「建築士」「建築家」「設計士」の明確な違いを知ることができました。僕の気になっていた建築という分野の仕事においてのやりがいを直接の質問することができ、関心を持つことができました。必要な資格やそれにもなった大学の選び方など将来の幅を広げることができました。聞いてとても楽しかったです。

・SDGsの中のエネルギーの観点を達成するために家を作る際に、必ずといっていいほど使われる壁の断熱材をリサイクル用品からつくることで、環境にやさしい作りになっていることを学んだ。また、家を作る際に出る木の破片などをインテリアにする取り組みが、建築業界の中で徐々に増えていることを知った。

・断熱材をリサイクルされているガラスで作ったり、建築素材の再利用をしたりして、環境への配慮をしていることが分かりました。一級建築士の試験の合格率は、10パーセントくらいで難関であり、建築士になるための過程が分かりました。また、大学選びは将来就く職業に繋がって行くことがわかって、非常に重要であることが分かりました。

・建築士として一番大切なのは、ルールを守ることとおっしゃられており、つまり見られていない些細なところをいかに大切にできる心があるか、そしてそれを行動に移せるかということが大切なのだ気づくことができた。学生のうちに、興味のあるないにかかわらず、様々なことに興味を持ち、学ぶことがこれからの自分のためになるのだとわかった。

・ぼくは今のところ建築士を目指しているので、建築士になるにはどうすればよいのか、建築学科でのスケジュールなどの、実感しやすい体験談や色々な資料を使ったお話がとても面白く、ためになりました。お話を聞いて今まで知らなかった建築士のもっと詳しいお仕事の内容や、一級建築士までの道のりといったことを学べてすごく楽しかったです。平田建設さんが教えてくださったことを頭にいれながらも、またいろいろな視野を増やしていきたいと思いました。